					事務事	<b>事業マネジ</b>	メントシー	<u> </u>	(令和6	6年	<u> </u>	分)				
	事業名	ふくおかの環境技	技術を活か	した国際貢献・	展開						かけ)は何か		:>+ <del> </del>	.1 ナ = 11 + 6 1 ー ・3	± +7 /=  ++ +111 - <b>+</b> +#	<b>华[短回士士</b>
	所管局	環境局		所管課	環境政策	<b>里</b>	── 背 への阝	)牛! 【私	芟に保岡巾 が高まり、	でロアシ	開催されたノ シア諸国を中	゚゚ンど太平 心に技術	・注都市サミッ 者の派遣、玛	小を契機に、₹ 見地での技術‡	準好気性埋立構 <sup>指導などの国際<sup>・</sup></sup>	道!
	<u>別官局</u> 根拠法令	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		川官味												,
	開始年度	平成9年度	行政計ī	■ 福岡市環境	竟基本計画											
	事業概要	Ę)														
_		対象として行うのか				令和6年度、前		方領	きを踏まえ、	、目	的達成に向	けて主に	どのような	よどのよう	な状態になった	ら事業を見直
		ア太平洋地域の都	方法で何を行								未	)するのか				
象							の廃棄物埋立 別研修(6か国							<sub>~</sub>  ·国内·	毎外の技術者や 関心のある都市	
	11210	012411461-14	1.04				明明 (0か国 肝修(11か国35				5型以1 1 リリ プレク	1-7 2 7 13	刊光弧1]-	直が、福岡	方式の基本理	念や施工、維
		のような状態にした 式」をはじめ福岡市か		きは術の華及『活	・田が		に設立した、国							持管理	こついて十分理	解し、福岡方
事	進み、対象	象都市の処分場周辺の	の生活環境			に字ひあい、 <sup>*</sup>  の推進組織「*	福岡方式の導 福岡方式グロ							判式を活用に展開る	用した埋立理改 されている	善事業が適止
目		ガス削減貢献量に寄 だに携わる国内、海外		5福岡方式に関	) を持	実施								基   福岡方	式を含むふくお	
	つ都市が	福岡方式の基本理念	や施工、維	持管理に関する	適正な	○ミャンマー・ 議を実施(※[						)アフター:	フォロー会		って、対象都市等 都市が形成され	
	知識を習行いる。	得し、福岡方式により	持続可能な	都市の形成に貢	献して	職で天加(水	当建ハレダット	争え	という かいり	<del>ال 11</del>	をでですり			一門 肥み1	11日の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の	ている。
I	コジックヨ	Eデル・指標の選	重成度】											•		
		①活動7ウトプ				結果アウトプット	<b>047</b>		(2)	<b>∕</b>	③中間7:		241	(Z0#	④最終7ウトカ	
	- 「福岡方	<b>(どんな活動を行</b> う 式」など、福岡市か		墳技術 ↓ • 技		<b>結果、どうなる</b> 施した都市等		k			<b>i果、対象は</b> を受けた都				果、市としてど	
	を積極的	ICPRするとともに、	、これに対	する都 埋		<b>廃棄物管理</b>		М			る環境技術			平洋地域等	における環境は	対きが進むとと
	∥市のニー 実施する	・ズを把握し、必要に	に応じ技術	協力を	その都市等	の生活環境が	が改善され				iになり、さ				の環境技術によ 、都市のプレゼ:	
	大心する	00		<b>1</b>   6	•			١Ţ	都市等を		点に、その がる	<b>境境技</b> 征	が他都	る。	、祖川リのプレビ、	ングルドリエッ
ジ								ľ	111 #100	ш	ນ.					
ゥ   ク		指標の内容		実	 績	目	 標	成						 実績	E	 ]標
Œ	※2新	ま果アウトプットに対応した 指標を設定	年度	R5年度	R6年度	R7年度	最終年度	果の			ムに対応した 設定	年度	R5年度	R6年度	R7年度	最終年度
ルル	活技術	協力(職員海外派	目標	80	120		R 年度	指	視察•研修	多受	入人数	目標	35	50 3	50	R 年度
•	期  追/夫	(施件数(累計)[※ ライン実施分含ま	実績	78	79	125		標	[※オンラ			実績	g	10	350	
	指 ず]		達成率	97.5%	65.8%			~	まず]			達成率	27.1	% 46.0	6%	
		協力(職員海外派 『施件数(累計)[※	目標	上記目標に含む	上記目標に含む		R 年度	Ι'n	視察•研修			目標	上記目標に含	む上記目標に含	む	R 年度
		ライン実施分(R2	実績	40	41	上記目標に含む	_	T	[※オンラ· (R2~)]	イン	/実施分	実績	16	58	99 上記目標に含む	_
	~)]		達成率	_	_			$\smile$	(1,2,0)]			達成率	-		_	
				計画(政策推過		t slet							事業費(千円	3)		
	事業区分		点		察•研修生受 <i>]</i> 票値:1,700人(					令	和6年度決		<u>.額)</u>			
;	を策コード		-6-1		示に:1,700/(、	, μτ <del>τι</del> χ/					歳出				2,953	
		冉 8-3-1									歳				0	
5		国際競争力を有し、アジアの									入  一般				2,953	
	施策	アジアの諸都市などへの国		標						刖	年度決算額			1	D.7	
	事業群	ビジネス展開に向けた国際	祭貢献·国際協								年度		R5	4.000	R7	
	田70 名日 十一 今」	1		行政運営プラ							歳出			4,988	14,128	
-	取組方針										歳特定			4 000	3,000	
	推進項目	_							I		入  一般!	別源		4,988	11,128	

						事務事	業マネジ	メントシー	<u> </u>	<u>(令和6</u>	6年度実施	分)				
	事業	名	次世代自動車の	普及に向け	た支援事業						きっかけ)は何:					
			I ÷			Tay	dk 1// s// =m				室効果ガス排り に施策を実施し		合が特に多い家	┆庭•業務•自動	加車の各部門	を重点3部門
	所管		環境局	10.00. 55 1 =	所管課			봄	. ) (	八里从时	に肥泉を美心し	こしいる。				
	<b>艮拠</b> 》		地球温暖化対策の					<b>注律</b>								
	開始全		平成19年度	行政計画	福岡市地	球温暖化対策	実行計画									
<u>L</u>		概要	は会しし てにこのよ	<u>.</u>			A == 0 == + -	<u></u>					100124	100124	Ibabbi - t. I	> <del></del>
			対象として行うのだ	J <b>`</b>			令和6年度、   方法で何を行		万策	を踏まえ、	、目的達成に向	けて主に	こどのような	成し(終了)す		:ら事業を見直
対象	™ \	ス及い「	市内事業者			施			去出	15試1 2万井	せ代自動車を普	五亿准十	·++ Z +- th	果厂厂提出	が地球温暖化	分学宝公司
涿						内	に、以下の事		<b>∠</b> F!	リパし、人口	出い日期中で日	及促進さ				対 東 天 1 1 i i i i i i i i i i i i i i i i i
	計學	きたじの	ことうな状態にした	こしのか		容	・市政だより	やHP等での広						★ 販売台数	こ占めるガソ	リン車の割合」
			プェブな (水感にした) 炭素を排出しない		)移行わ エネ	<u>ル</u> 事		動車展示・試乗		<b>.</b> →□ + □ L .	_15			<u> </u>		備設置数」)の
事業目的	ギー	-鸿費(	の少ない運転など	、自動車部	門における脱	炭素		動車の購入費用 東田充電設備 <i>の</i>			<sup>戍</sup> 一部を助成(補	助分分を		1.3	等を踏まえ検	討りる。
未日	シフ	トを推	進することにより、	温室効果	ガスの排出削減	炭素 減を図 手 段		車用充電設備に				179171376		断 基		
的	る。					段								準		
														<u> </u>		
7	ラジッ	ックモ	デル・指標の選	幸成度】												
			①活動7ウトプ	°y <b></b> h			結果アウトプット				③中間7				④最終アウトカ	
			(どんな活動を行				結果、どうなる				の結果、対象は				、市としてど	
	〇次   啓発		自動車展示·試乗	会等による			車に対する関	心が高ま	I		部門における			〇自動車部門 素排出量が減		いる二酸化炭
			自動車の購入費用	用の一部を	助成しる。		車の普及が広	まい ガソハ		重及ひ_  る。	酸化炭素排品	ゴ 重 か 引		系が山里が <i>帰</i> 〇人と地球に		続可能な都市
	O電	気白動	動車用充電設備語		÷17		が減少する			<b>3</b> 00				が構築される		)
	を助	]成											- 7			
ジッ	y															
ク			指標の内容 果アウトプットに対応した		実	績	目標			指標	票の内容 ウトカムに対応した		実	績	E	1標
Ŧ	活		指標を設定	年度	R5年度	R6年度	R7年度	最終年度	果の		標を設定	年度	R5年度	R6年度	R7年度	最終年度
ルル	活	<b>√</b> 2 +++ 1.	七自動車の購入	目標	525	685		R 年度	指	 	3. 本去電訊供	目標	_	106		R12年度
	劉  の		では ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実績	682	537	685		標		急速充電設備 置数(基)	実績	93	104	113	150
	の指標			達成率	129.9%	78.4%			ĸ			達成率	_	98.1%		
	標	電气 F	自動車用充電設	目標	20	25		R 年度	P			目標				R 年度
			o 動車用九电政 设置補助件数	実績	10			_	Ì			実績				
				達成率	50.0%	80.0%			)			達成率				
				基本	計画(政策推進	重プラン)							事業費(千円)			
3	事業は	区分	重	点		動車部門の成	果指標は該当	なし		1	令和6年度決	算額(見)	<b>込額</b> )			
ti	- 4t -	. (*	主 4	<b> </b> −1−1	施						歳出	1			103,155	
施策コード											歳特定	財源			71,420	
分野別目標 人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築されている 果												財源			31,735	
	施夠	策	地球温暖化対策の推進と自律	対散型エネルギー	指 社会の構築						前年度決算額	9 翌年度	予算額			
	事業	群	省エネルギーの技	推進	7.T						年度	Ę I	R5	R	7	
					行政運営プラ	シ				1	歳出	1	101,6	49	144,943	
J	収組ス	方針	2ぬくもり 多様な	ニーズに習	寄り添うサービ	スの提供					歳特定	財源	81,6	80	103,833	
		項目	④市民や企業なる	ビレの#価	₌油堆					1	入一般	財源	19,9	69	41,110	

						事務	事業マネジメ	シ	シート	(令和(	6年度実施	<b>i分)</b>					
	事	業名	事業系一般廃棄	物資源化的	設の整備支持	爰					きっかけ)は何:						
								一背	事業者の   山老書は	自主的な耳	対組みのみでは	は事業系ご	みの資源化が円 取組みた支援す	]滑に進まなし -スニレニ トル	N現状に鑑み、 循環資源の	、事業者の排	
<u> </u>		<u>管局</u>	環境局		所管課	計画課			山石貝□	さらて循環型	プ、ての <sub>員源し</sub> 型社会の形成に	こ資するため	:取組みを支援す め、「福岡市事業	ることにより 美系ごみ資源・	、1個環境源の、 化推進ファント	対を設置し、	
_		L法令 4.左帝	一世の佐藤	<b>イニストラ</b> 上で		上 机床弃机	·····································	-			:事業を実施。						
_		音年度 集概要	▼成26年度	行政計画		7一般廃業物	加理基本計画										
1-			₹』 ∵対象として行うのか	١			令和6年度、前	<b>年</b>	の改善士	生た効士ラ	日的達成に向	ルナナニ	ドの トラナ	どのとうな	<b>壮能にかった</b>	ら事業を見直	
対			おいて施設の設置又おいて施設の許可に		可を取得した者		実 方法で何を行っ			代で四かん、		)() C±1=0	-07676	成し(終了)す		りず木で元旦	
象	②: る	本市に	おいて施設の許可に	基づき施設等	等を設置し稼働		を 令和6年度は新	たに	食品廃棄	物の資源化	た施設が稼働を	開始したこ	とから.	補助金の組	終期が令和74	年度末までで	
	<b>1</b> %1	対象をどのような状態にしたいのか 事業系一般廃棄物の資源化推進に寄与する施設及び設備を本市内で整備するために要する費用について、その一部を補助することにより、本市の一般廃棄物の資源化施設の基盤整備を図る。							化に関して	周知を行い	、事業系一般原	<b>廃棄物のリ</b>	サイクル	見あり、令和	8年度以降に	ついては、資	
							へに 合旦 医竜	食品廃棄物の資源化に関して周知を行い、事業系一般廃棄物のリサイクル量は19,184 t(古紙9,082 t、食品廃棄物10,102 t)であった。さらに紙おむつ資源化、食品廃棄物資源化(堆肥化)、バイオエタノール製造等について、事業									
事	事	業系ー	・般廃棄物の資源作	2推進に寄	与する施設及	び設	者へ資源化施記	おへ資源化施設の新設等に関するヒアリングを行った。    ***   **   **   **   **   **   **									
		を補助	することにより、本	ic安りつ貝 市の一般隊	産棄物の資源の	と施設	<del>*</del> 手							断			
目的	の					Į.	没							<b>生</b>			
													\				
7	<u>し</u> つぐ	シックコ	Eデル・指標の選	を成度】													
	Ť		①活動アウトプ	ット			2結果アウトプット				③中間7				<b>④最終アウトカム</b>		
		<b>タバエル</b>	(どんな活動を行				の結果、どうなるの	か)			の結果、対象に				、市としてどう	なるのか)	
	-		施設の設置に係  整、設置許可及で				の設置、稼働 源化事業の開始	,		・市内に	おけるリサイク	フル重のエ	曽加	ごみ処理量	の削減		
1_																	
ロジ													- /				
ッ			指標の内容・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			· ·结		5	月	1 指棋	■の内容		実総	±	В	 標	
クモ		※②新	ま果アウトプットに対応した	-		R6年度			ーー ディスティック 第4年度 14年度 14年度 14年度 14年度 14年度 14年度 14年度 1	※③中間アウトカムに対応した		年度	R5年度	R6年度	 R <b>7年</b> 度	最終年度	
デ	モデル 活動の 補助		指標を設定	目標	1 1		0 17年度	0.		指標を設定		目標	268,000	272,500	八十尺	R 年度	
1	動	補助金	金交付件数	実績	1				<u>年度</u> 指 標		'クル量(t)	実績	218,895	216,508	277,000	八十尺	
	の生	)   ''''		達成率	100.0%	_		-	— P		) N ± (c)	達成率	81.7%	79.5%	277,000	_	
	指標			目標				R	年度 K			目標		7 0 10 10		R 年度	
				実績					<del>''~</del>			実績					
				達成率					Ľ			達成率					
	基本計画(政策推進プラン)												事業費(千円)				
3	- 44			424													
	争养	医分	重	点		み処理量 4	9 万トン(令和6年				令和6年度決	算額(見込	.額)				
			<b>1</b> 4		・こ 施 ・リ	み処理量 4	9 万トン(令和6年 36%(令和6年度)				令和6年度決		.額)		0		
扩		ミコード	<b>1</b> 4	点	・こ 施・リ 策	み処理量 4					歳出	1	額)		0		
	拖策	コード	主 4	点 -2-1	施 ・リ 策 成	み処理量 4					歳特定	1	額)		0 0		
	<b>を策</b>	コード	主 4	点 一2-1 能な都市が構築さ	施 ・リ 策 成	み処理量 4					歳特定	財源			0 0		
	野児	コード 別目標	主     4       再     -       人と地球にやさいい、持続可	点 一2-1 能な都市が構築さ	施 施 成 果	み処理量 4					歳 特定入 一般	財源財源		R	0 0 0		
	野児	コード 別目標 速策	主 4 再 — 4 人と地球にやさい、持続可 循環型社会システ	点 一2-1 能な都市が構築さ	施 ・リ 策 成	。 サイクル率;					歳 特定入 一般	財源財源	<b>予算額</b>		0 0 0 0 7 920		
分	野が施事	コード 別目標 速策	主 4 再 — 4 人と地球にやさい、持続可 循環型社会システ	点 一2-1 能な都市が構築さ	施策成果 指標	。 サイクル率;					歳 特定 一般 前年度決算額 年度	財源 財源 ・翌年度・	<b>予算額</b> R5	00			

所管局 環境局 所管課 計画課	#養名   新養島   原復局   所養護   計回證   対							事務事	事業マネジ	メントシー	<u>-  -  -  -  -  -  -  -  -  -  -  -  -  -</u>	(令和6	年度実施	5分)				
所管局 環境局 所管課 計画課	所管局   環境局   環境局   原管菌   計画部   対象を表している。   アク・アックに影響を発生を入っている。   アク・アックに影響を対している。   アク・アックに影響を発生している。   アク・アックに影響を発生している。   東京展安   東の中で度   行政計画     国際市・反演支替処理基本計画   中のからの方式を対象にしたいるの。   東方表・アックのリサイクル体制の情報に向けて重点を影響を指定されている。   東方表・アックのリサイクル体制の情報に向けて重点を影響を指定されている。   東方表・アックのリサイクルのから、アク・アックにある。   アク・アックのリサイクルのから、アク・アックによっている。   アク・アックのリサイクルのから、アク・アックによっている。   アク・アックのリサイクルのから、アク・アックのリサイクルのから、アク・アックのリサイクルは、対象をとのような状態にしたいのか   東京をデータ・アックのリサイクルのから、アク・アックのリサイクルのから、アク・アックのリサイクルのから、アク・アックのリサイクルのから、アク・アックのリサイクルが、対象をとつ、アク・アックのリサイクルが、対象に変して、アク・アックのリサイクルが、対象をとのような状態にしたいのか   東京を上して、アク・アックのリサイクルのから、アク・アックによって、アク・アッのによって、アク・アッの		事業	名	プラスチック回収	事業												34 76 H 1 1
横胞法令 プラスチック資源循環促進法 開始年度 行政計画 福岡市一般廃棄物処理基本計画 第 かまでいる方な 所名 で	表現法令   プラスチックの実際保護保護法   不安計画   下の   下の   下の   下の   下の   下の   下の   下		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		里 <del> </del>   世		工作品	let races		──   フラス	くチッ	ノク資源循境 ・を踏まえ、	ほ進法が令れ プラスチックの	阳4年4月 )効率的な	に施行され、フ 収集・リサイクル	ラスチックの分 レ体制の構築し	別収集が努力 こ向けて課題:	フ義務化され を把握するた
開始年度   令和4年度   行政計画   福岡市一般廃棄物処理基本計画	関係を使 令和4年度   行政計画					活理/日光:		計画課			デル	事業を実施	することとした	もの。		-   T- 10.1 0.2     T- X-1	-1-117 CH/KE	
本業概要	事業用要]							心家妾物加理	 其太計画									
(何)を対象として行うのか	種(例)を対象として行うのか				7和44段	1」以表記[四	<b>画 [</b> [[[[[[[[[[[[[[[[[[[[[[[[[[[[[[[[[[[	区角果初处压	基本計画 ———									
市民(市民が排出するブラスチックごみ)   東方法で何を行ったのか   カタをどのような状態にしたいのか   ブラスチック製品を回収する「ブラス   アック製品を回収する「ブラステックの効率的な回収・リサイクルのあり方について検討する。	# 市民(市民が採出するプラステックごみ)  # 方法で何を行ったのか				象として行うのか	١			今和6年度 前	前年度の改善	古名	6を跳する	日的達成に向	コナて主に	どのような	どのような	<b>火能にかった</b>	心重業を目店
施・市内のか所の資源物回収拠点においてプラスチック製品を回収する「プラス   対象をどのような状態にしたいのか	#						r)	実			1732	K C M C / L /		JI) C II.C				ウチネとル匠
対象をどのような状態にしたいのか   オーステックのリサイクルに向けた課題を検証し、福岡市に   東京	対象をどのような状態にしたいのか								・市内9か所の	D資源物回収	拠点	<b>においてプ</b>	ラスチック製	品を回収す	トる「プラス	プラスチッ		回収・リサイク
本学ののリサイクルに向けた課題を検証し、福岡市に表おけるアスチックのリサイクルのあり方について検討する。	対象をどのような状態にしたいのか  対象というのサイクルののあり方について検討する。													I + 担人(	の加集を制	JC	構築する。	
#	# 1010 17 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							$\sim$								直		
# 自	Table   Ta								戸別収集モデ	が事業」を市	内一	-部エリア(物	寺徴の異なる:	3地区)に	て実施。	判		
では、	(本)	耒		<b>るノフ</b> /	ヘナツクのリサイク	フルのあり.	力について快き		BACICIO							断		
(ロジックモデル・指標の達成度) (①活動7ウドプット (送んな活動を行うのか) ブラスチックを回収・リサイクルし、効果や課題を検証する。	(アジックモデル・指標の達成度)	旧的	00							747700,7	ソイ	7/V <del>=</del> 1900	2777山里07日	リルメル末に	. JU· Cf英	基 淮		
(その結果、アウトアット (活動で行うのか) (活動の結果、どうなるのか) (その結果、対象はどうなるのか) (その結果、対象はどうなるのか) (その結果、対象はどうなるのか) (その結果、対象はどうなるのか) (中間でからなるのか) (中間であり方を検討し、プラスチックのリサイクルにおける課題等の検証結果が (おいまり では、アラスチックの回収・リサイクルにおける課題等の検証結果が (その結果、対象はどうなるのか) (中間であり方を検討し、プラスチックの回収・リサイクルは制を構築する。 (その結果、方としてどうなるのか) (特別処理するプラスチックの回収・リサイクルは制を構築する。 (その結果、方としてどうなるのか) (特別処理するプラスチックの回収・リサイクルは制を構築する。 (その結果、方としてどうなるのか) (特別処理するプラスチックの回収・リサイクルは制度では、アラスチックの回収・リサイクルは制度では、アラスチックの回収・リサイクルでは、アラスチックの回収・リサイクルでは、アラスチックの回収・リサイクルでは、アラスチックの回収・リサイクルでは、アラスチックの回収・リサイクルでは、アラスチックの回収・リサイクルが制度では、アラスチックの回収・リサイクルでは、アラスチックの回収・ファラスチックの回収・ファラスチックの回収・ファラスチックの回収・ファラスチックの回収・ファラスチックの回収・ファスチックの可能では、アラスチックの回収・ファラスチックでは、アラスチックの回収・ファスチックでは、アラスを表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表	(受験集7か)プラステックを回収・リサイクルし、効果や課題等の検証結果が得られる。  「活動の結果、どうなるのか) フラステックを回収・リサイクルし、効果や課題等の検証結果が得られる。  「技術の内容 実績 日標の内容 実績 日標 アキ度 最終年度 の非性を設定	H J																
(どんな活動を行うのか) ブラスチックを回収・リサイクルし、効果や課題を検証する。  「お動の結果、どうなるのか) ブラスチックを回収・リサイクルにおける。  「お動の結果、どうなるのか) フリサイクルでおり、 では、なる活動を行うのか。 「お動の結果、どうなるのか。 「おきないでは、する。」 「おりかった。 「はいった。 「おりかった。	(受験集7か)プラステックを回収・リサイクルし、効果や課題等の検証結果が得られる。  「活動の結果、どうなるのか) フラステックを回収・リサイクルし、効果や課題等の検証結果が得られる。  「技術の内容 実績 日標の内容 実績 日標 アキ度 最終年度 の非性を設定	F	1220	·/フエニ	ごり に 性 便 の ほ	* · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·												
(どんな活動を行うのか)           (活動の結果、どうなるのか)           プラスチックを回収・リサイクルし、効果や課題を検証する。         (その結果、対象はどうなるのか)           福岡市におけるプラスチックの回収・リサイクルにおける課題等の検証結果が得られる。           指標の内容 ※2結果アウトプットに対応した 指標を設定         実績         日標 別サイクル効果(リサイクル効果(リサイクル効果(リサイクル効果(リサイクル効果(リサイクル効果))         (その結果、対象はどうなるのか)           福岡市におけるプラスチックの回収・リサイクル体制を構築する。         ・焼却処理するプラスチックの回収・ ・焼却に際して排出される温室効果カの排出量削減・プラスチックの資源循環の促進           指標の内容 ※2結果アワトプットに対応した 指標を設定         年度         R6年度         R7年度         最終年度           プラスチックの回収・リサイクル体制の構築         実績 実施	(どんな活動を行うのか)			<i>// L /</i>				(2)	結果アウトプット		Т		③中間7	'ウトカム			4)最終アウトカム	
題を検証する。	題を検証する。				どんな活動を行	うのか)		(活動の	結果、どうなる				)結果、対象に	はどうなる		(その結果	、市としてど	うなるのか)
日記   日標   日標   日標   日標   日標   日標   日標	1					いし、効果					I							
Table   Ta	100   10		起で	快証り	<b>ර</b> ං				る誄起寺の作	英証結果か	ш							ュ王刈木ハヘ
ヴライモデル         指標の内容 ※②結果アウトブットに対応した 指標を設定         実績         目標 R5年度         R6年度         R7年度         最終年度 最終年度 の指標を設定         指標の内容 ※③中間アウトカムに対応した 指標を設定         年度         R5年度         R7年度         最終年度 最終年度 の指標を設定         日標 中/クル率、CO2削減効果 等)の把握         上標 達成率         上握 上版         上型 上版         上型 上版         上型 上版         上型 上版         上型 上版         R 年度         上型 上域         上型 上型 上域         上型 上域         上型 上域         上型 上域         上型 上域         上型 上域         上型 上型 上型 上型 上型 上型 上型 上型 上型 上型 上型 上型 上型 上	指標の内容   実績   目標   成   指標の内容   実績   目標   成   指標を設定   年度   R5年度   R6年度   R7年度   最終年度   日標   1月サイクル効果   日標   把握   把握   把握   上堰   上堰   上堰   上堰   上堰   上堰   上堰   上						143	J10.00°					776 PT 1111 C 1	m x 7 0	0	・プラスチック	の資源循環の	促進
ヴライモデル         指標の内容 ※②結果アウトブットに対応した 指標を設定         実績         目標 R5年度         R6年度         R7年度         最終年度 最終年度 の指標を設定         指標の内容 ※③中間アウトカムに対応した 指標を設定         年度         R5年度         R7年度         最終年度 最終年度 の指標を設定         日標 中/クル率、CO2削減効果 等)の把握         上標 達成率         上握 上版         上型 上版         上型 上版         上型 上版         上型 上版         上型 上版         R 年度         上型 上域         上型 上型 上域         上型 上域         上型 上域         上型 上域         上型 上域         上型 上域         上型 上型 上型 上型 上型 上型 上型 上型 上型 上型 上型 上型 上型 上	指標の内容   実績   目標   成   指標の内容   実績   目標   成   指標を設定   年度   R5年度   R6年度   R7年度   最終年度   日標   1月サイクル効果   日標   把握   把握   把握   上堰   上堰   上堰   上堰   上堰   上堰   上堰   上										17							
**2結果アウトプットに対応した   指標を設定   年度   R5年度   R6年度   R7年度   最終年度   日標   把握   把握   把握   上握   上握   上握   上握   上握	### 20   1   1   1   1   1   1   1   1   1	ッ																
T	The first and provided in the first and	クエ		※②結里アウトプットに対応した						<b>——</b> 田							1	
ル	1			ŧ					R7年度			指標					R7年度	
	大田	ル	山山	ノサイク						R 年度	指	プラスチック	クの回収・リ					R 年度
	「		の	ノル平、	レ率、CO2削減効果		実施	<b>美施</b>	把握 	_	標				実施	実施	検討	_
	回収やリサイクルにお ける課題の把握   実施   実施   実施   連成率		百十	<del>(1</del> / V/1L)	71)王		- Im 10			D	<b>⊣</b> κ	<b> </b>			_	_		D + +
	大き   大き   大き   大き   大き   大き   大き   大き			回収や!	ノサイクルにお				+m+E	K 年度	$-\stackrel{\sim}{P}$							K 年度
	基本計画(政策推進プラン)     事業区分     重点     ・ブルル理量目標値:49 万トン(令和6年度)     ・プサイクル率目標値:36%(令和6年度)       分野別目標 人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築されている 施策 循環型社会システムの構築事業群 3Rの推進     日標値:36%(令和6年度)     特定財源						<b>美</b> 他	<b>美</b> 他	性性 1	_								
	事業区分       重点       施策コード       主       4-2-1       施策       ・プラトン(令和6年度)         内野別目標 体策 循環型社会システムの構築       月 信標値:36%(令和6年度)       東 指標       特定財源       0         本業群 3Rの推進       行政運営プラン       年度       R5       R7         歳出       4-2-1       大       中度       R5       R7         施策 循環型社会システムの構築       市年度、算額・翌年度予算額       年度       R5       R7         最出       41,223       51,584									$\sim$			连队平					
	注		<b>ا</b> علاد 🗕	- <i>(</i> )									^ <del></del>	AT AT / EL V		1		
<b>施</b> 目標値・49 万トン(令和6年度)	施策コード   土   4-2-1   策	-	<b>事業以</b>						ン(令和6年度	)					<b>∆額</b> )		22.22	
施策コード   土   4-2-1   策   ・リサイクル率	分野別目標       人と地球にやさい、持続可能な都市が構築されている 施策       果 指標         事業群       3Rの推進         行政運営プラン       ス         一般財源       36,287         前年度決算額・翌年度予算額         年度       R5         歳出       41,223       51,584	旅	策コ	<b>-</b> ト -		<del>-2-1</del>	無・リ	サイクル率		•			1				36,287	
	施策     循環型社会システムの構築     措標       事業群     3Rの推進     年度     R5     R7       行政運営プラン     歳出     41,223     51,584												7420				0	
が野別日標 人と地球にやさい、持続可能な都市が構築されている 本	事業群     3Rの推進     年度     R5     R7       行政運営プラン     歳出     41,223     51,584	分	か野別目標 人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築されている												マ <b>佐</b> 七五		36,287	
加東   個環空社会ソステムの構築   標	行政運営プラン 歳出 41,223 51,584		施策 循環型社会ンステムの構築 標標													Гр	7	
												4 l						
													<b>==</b> u					
	取組方針   —   歳 特定財源   0   0   1,23   51,584   1,223   51,584   1,223   1,23	В		与金+	_		行収理呂ノフ	<u>ان</u>				{			41,4	0	01,084 n	

					事務事	<b>事業マネジ</b>	メントシー								
	事業名	プラスチックごみ	発生抑制							きっかけ)は		_ == +=		. 14 7月 0页 // 土1 //	·
	•	環境局		<b>武佐</b> 钿	ごっぱ!	₩₩₩	─── <b>  </b>	社会	♂の構築かる ・、考え、行動	1会全体の課 カするきっかけ	題である中 とする。ま	で、プラスチックご。 た、さらなるごみ減	み削減の取り組み 量のため、まずは	ナヤ温暖化対策 ごみを出さない	(の必要性につ) ・生活スタイルを
	所管局 退拠法令	<b></b>		所管課	ごみ減量	性進誄	<b>  景</b>   定着さ	せる	ことが重要 <sup>-</sup>	であることから	、3R(リデ.	ュース(発生抑制).	リユース(再使用	引)、リサイクル(	(再生利用))の
	が近広で <u></u> 開始年度	一 平成19年度	行政計画	<b>■</b> 福岡市一領		其木計画		(リラ	アユース、リ-	エースハニ里に	を直いた	Rの啓発を強化し	、美践仃凱を推進	9 る必安かめ	<b>5</b> .
	業概要		יום איינו	יו נוינשו⊞ו <u>ו</u>	以先来1072年	坐作问回									
		<u>▲</u> 対象として行うのか	)\			令和6年度、	前年度の改善	方領	を踏まえ.	目的達成に	向けてど	のような方法	<u></u> どのような	状態になった	ら事業を見直
対	■市民				実	で何を行った					_,,,,,,		成し(終了)す		
象					施		クごみ削減に関					メーカーによ	□市民の		が、不要なワ
					内 —— 容		ク製品の自主[ プラスチック削					胃培和信刑 胃培和信刑	見シウェイプ	ラスチックを選 ナス	選択しない行
		のような状態にした		7		容器の導入を	を支援し、イベン								プラスチックご
-		Fックごみ削減の意 上のプラスチック			事 学 業	啓発を行った		· 🖂 –	上纵人回事	·♠☆ TL ァ ᡭ ナ╦ ⊡	士士赔衫	\\ <del>\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\</del>	判みがなくな	る。	
未日	い)				手		園(4か所)、福 計6か所に新7						断 基		
的	■不要な	プラスチックをリサ	イクルする		段		置施設の周知				•		準		
													$\sim$		
7	ジックモ	デル・指標の遺	[成度】												
		①活動アウトプ				結果アウトプット					アウトカム	= - 1.3		<ul><li>4最終アウトカ</li></ul>	
		(どんな活動を行きの事業者とのプラス		判滅/-   ■ -		結果、どうなる ヾスピ∀レンホサ。。ピナ	<b>のか)</b> ナイクルの意	١,		<b>の結果、対象</b> 成に伴う行		るのか)	市民の行動変	、市としてどう	
	関する共同	]啓発		1 記	ノフヘテックこ が高まる	_ の7月1/193、7、7、7	ノイソルの息	Ш		上のプラス		らわない	れるプラスチッ		
	■メーカー 関する広報	によるプラスチック製 3支援	提品の自主回	収に	, 12,0.0			М			選ぶときに	は環境配慮型			
	■イベント問	時における環境配慮	型容器利用	促進の					製品を選	ふ プラスチック	をリサイク	ルに出す			
	ための広報 ■市有施設	を発 とに給水スポットの増	設. マイボト	·ル協   <b>   </b>				١Ţ	〇事業者	によるプラス		資源循環の取			
ンツ	力店を増や	し、ホームページや	Webマップで	の周				Ι/	り組みが	足進される					
ク	知	指標の内容		独		 ]標	成	11日本	の内容			<b>E</b> 績	F	標	
モデ		果アウトプットに対応した	<b>在</b> 度			R <b>7年</b> 度	□ 禄 □ 最終年度		※3中間7	ウトカムに対応し	年度	_	₹ <b>積</b> R6年度	<u></u> R7年度	最終年度
ル	活,以	指標を設定	目標	89.0	91.0		R12年度	の	10/	票を設定	日標				R12年度
	動レジ級	の辞退(%) アンケート)	実績	88.0	80.9	93.0	25.00	指揮	家庭系プ  の焼却量	ラスチックご	み実績	4.9	5.3	5.7	
	のに中氏指	アンケート)	達成率	98.9%	88.9%		95.0%		が洗却里	(カトン)	達成	<b>率</b> 118.4%	109.4%		5.5
	煙	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	目標	60.0	60.0		R12年度	K	T#00	D# 7 (0()	目標	13.0	14.0		R12年度
		トル持参率(%) アンケート)	実績	61.9	57.5	60.0	70.0%	P	再生品の(市政アン		実績	9.7	6.1	15	30%
	(1).22	, , , ,	達成率	103.2%	95.8%		70.0/0	J	(1).22,7.2	, 17	達成	<b>率</b> 74.6%	43.6%		30/0
			基本	計画(政策推進	プラン)							事業費(千円	)		
事	業区分	重	点	<b>ー・ユ</b>	果指標> 処理量					令和6年度	決算額(身	<b>己</b>			
拡	策コード		-2-1	<b>他</b>   <sub>基準</sub>	年度(2019年度)					岗	出			17,608	
JT.	東コート	再一			目標(2025年度) 年度(2030年度)					歳特	定財源			16,685	
分	野別目標	人と地球にやさしい、持続可	能な都市が構築さ		完指標> 1人1日あたりの	<b>机</b> 理量				시 -	般財源			923	
	施策	循環型社会システ	テムの構築	1   基準	年度(2019年度)	501g/人·日				前年度決算	[額・翌年	度予算額			
	事業群	3Rの推進			目標(2025年度) 年度(2030年度)					至	度	R5	R	7	
				ン							6,683 16,791				
耳	双組方針	_							1	歳特	定財源	1	419	15,791	
拊	進項目	_									般財源	15	264	1,000	

事業名 家庭系食品ロス対策の推進   事業を始めた理由(きっかけ)は何か   さらなるごみ減量のため、まずはごみを出さない生活スタイルを定着させることが重要   ちらなるごみ減量のため、まずはごみを出さない生活スタイルを定着させることが重要   ちらなるごみ減量のため、まずはごみを出さない生活スタイルを定着させることが重要   ちらなるごみ減量のため、まずはごみを出さない生活スタイルを定着させることが重要   ちらなるごみ減量のため、まずはごみを出さない生活スタイルを定着させることが重要   ちらなるに対し、実践行動の促進を行うため。   中成19年度   行政計画   福岡市一般廃棄物処理基本計画   「本業概要   「本業概要   「本業概要   「本業概要   「本業概要   「本業の   「本業の   「本業の   「本まの   「本ま	リデュース、リ <b>こら事業を見直</b> 忍識し、理解に
所管局 環境局	リデュース、リ <b>こら事業を見直</b> 忍識し、理解に
根拠法令 食品ロスの削減の推進に関する法律   開始年度   平成19年度   行政計画   福岡市一般廃棄物処理基本計画   ユース)に重点を置いた3Rの推進啓発を強化し、実践行動の促進を行っため。   事業概要   誰任何)を対象として行うのか   市民   令和6年度、前年度の改善方策を踏まえ、目的達成に向けてどのような方法   で何を行ったのか   漁品ロス削減の啓発を実施   (フードドライブキャンペーン)   ・市内97箇所(22の企業・団体と連携)で実施   回収した食品 1,809kg   (食品ロスダイアリー)   ・小学4年生の環境学習の一環として、食品ロスダイアリーを配布   (出前講座)   トルの移理整頓   小蔵庫内の整理整頓   小蔵庫内の整理整頓   小蔵庫内の整理整頓   小学4年生の環境学習の一環として、食品ロスがフリーを配布   (出前講座)   内の表で表述。   日本の表述を対象に食品ロスがは関する出前講座「食品ロスって何?」、「フード」   大阪市民を対象に食品ロス削減に関する出前講座「食品ロスって何?」、「フード」   大阪市民を対象に食品ロス削減に関する出前講座「食品ロスって何?」、「フード」   大阪市民を対象に食品ロス・フード   大阪市民を強いる   大阪市民を対象に食品ロス・フード   大阪市民を強いる   大阪市民を対象に含品ロス・フード   大阪市民を強いる   大阪市民を対象に含品 1,809kg   (食品 1,809kg   1,800kg   1,800kg	でら事業を見直認識し、理解に
開始年度   平成19年度   行政計画   福岡市一般廃棄物処理基本計画   「本業概要】	忍識し、理解に
【事業概要】	忍識し、理解に
誰(何)を対象として行うのか 市民	忍識し、理解に
市民   市民   市民     市民     市民     市民     市民     市民     市民     市民     市民     市民     市民     市民     市民     市民     市民     市民   市内 97 箇所 (22の企業・団体と連携)で実施   回収した食品 1,809kg (食品ロスがイアリー)   1 ま	忍識し、理解に
<b>************************************</b>	忍識し、理解に 行い、食品ロス
カス	行い、食品ロス
対象をどのような状態にしたいのか   食品ロス問題を正しく認識し、理解することにとどまらず実践行動をしている状態   (食品ロスダイアリー)   ・小学4年生の環境学習の一環として、食品ロスダイアリーを配布   (出前講座)   市民を対象に食品ロス削減に関する出前講座「食品ロスって何?」、「フード   基準   大きなおりません。	
事業目的       (食品ロス問題を正しく認識し、理解することにとどまらず実践行動をしている状態 (食品ロスダイアリー)       事(食品ロスダイアリー)       (食品ロスダイアリー)       **       ・小学4年生の環境学習の一環として、食品ロスダイアリーを配布(出前講座)       ・小学4年生の環境学習の一環として、食品ロスダイアリーを配布(出前講座)       事(出前講座)       基準	
大学   践行動をしている状態   一次   ・小学4年生の環境学習の一環として、食品ロスダイアリーを配布   一次   ・小学4年生の環境学習の一環として、食品ロスダイアリーを配布   ・小学4年生の環境学習の一環として、食品ロスダイアリーを配布   ・小学4年生の環境学習の一環として、食品ロスダイアリーを配布   ・小学4年生の環境学習の一環として、食品ロスダイアリーを配布   上本   ・小学4年生の環境学習の一環として、食品ロスダイアリーを配布   上本   上本   ・小学4年生の環境学習の一環として、食品ロスダイアリーを配布   上本   ・小学4年生の環境学習の一環として、食品ロスダイアリーを配布   上本   ・小学4年生の環境学習の一環として、食品ロスダイアリーを配布   上本   ・小学4年生の環境学習の一環として、食品ロスダイアリーを配布   上本   ・小学4年生の環境学習の一環として、食品ロスダイアリーを配布   上本   ・小学4年生の環境学習の一環として、食品ロスダイアリーを配布   ・小学4年生の環境学習の一環として、食品ロスダイアリーを配布   ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
目   が 見 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	
使いきれない食材をフードドライブに持って行く 実施回数 16回 参加者 384人	
【ロジックモデル・指標の達成度】	
①活動アウトプット ②結果アウトプット ③中間アウトカム ④最終アウトカ	
(どんな活動を行うのか) (活動の結果、どうなるのか) ・食品ロス問題を啓発する ・食品ロス削減の認知度があがる ・食品ロスを身近な問題ととらえ削減行 ・手つかず食品処理量が減	
・食品ロス問題を各光する	ルシック
・食品ロス削減行動が持続的・継続的に	
プリッ ・食品ロス削減をはじめとして家庭ごみの 減量の意識が根付く	
	 目標
	□ 伝 □ 最終年度
デ     市政アンケート   計画的   日標   481   491   R12年度   の   日標   140   140	R12年度
	13.2
	R12年度
	1.0
(万トン)	1.8
基本計画(政策推進プラン) 事業費(千円)	
事業区分 重点 <成果指標>	
・	
施策コート	
再	
指 市民1人1日あたりの処理量	
事業群 3Dの推進 15 中間目標(2025年度)488g/人・日	
<del>事業件 SROT能と                                      </del>	
取組方針       2ぬくもり 多様なニーズに寄り添うサービスの提供       歳 特定財源       1,466       3,218         推進項目       ④市民や企業などとの共働・連携       人 一般財源       0       0	

						事務事	<b>事業マネジ</b>	メン	トシー	<b> </b>	(令和6	6年度	医実施	<b>i分)</b>					
	事章	集名	事業系食品廃棄	物3R推進哥	<b>事業</b>					-	めた理由(					-			
								一背	食品口	スド	削減の推進	に関す	る法律	の施行に	伴い、本市に	おい	ても食品ロス	ス削減の推進	を実施するた
		<b>管局</b>	環境局		所管課	ごみ減量	推進課	景		業	は、 令和3:	年度より	/事業系	をごみ資源	回収推進事	業から	う分割し. 事	業系食品廃棄	棄物3R推進事
_		法令	食品ロスの削減の								を施している		, 1. 2/4			210.00	377 11.0 ( )	>K > K > C + H > C >	(1)30 · (1)EXE 1
_		年度	令和3年度	行政計画	■ 福岡市一般	<u>投廃棄物処理</u>	基本計画												
		概要					I										I		
١			対象として行うのか		<b>~</b>		令和6年度、			方策	きを踏まえ、	目的這	を 成に 向	けて主に	どのような	成果	どのような:  し(終了)す		ら事業を見直
対象		・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	事業者(飲食店•宿	1111/11121	支品小冗占寺)	夫 施	方法で何を行			7 574 :	エチ					果	の 会 亡 年		フルはずの形を
<b>*</b>						内	・福岡エコ運動・福岡エコ運動	助により 助協力	る仏 報合 店を紹介	光が	活動 るウェブサ	イトのボ	軍用			見			ス削減の取組 し、食べられる
	44.	色ナじん	フィンナッド祭ニー・ナ	-1. A+		字 とし 事	・品質的に問							の提供に	ついて周	直	のに捨てら	れる食品廃棄	集物の量が大
	由.		Dような状態にした 然ごみの約22%を	知									し	幅に減った	:状態。				
事業目的	すってり		るのではなく、減量										判						
未日	す												断基						
的						段										準			
																$\smile$			
7	コジ	ックモ	デル・指標の達	を															
	Ť	<del></del>	①活動7ウトプ			2	結果アウトプット					(3	中間で	ウトカム			(	<ul><li>①最終アウトカノ</li></ul>	
			(どんな活動を行	うのか)			結果、どうなる						-	よどうなる				、市としてどう	
			事業者への啓発 事業者から市民へ <i>0</i>	N = 10 × 20 ×	・食	品ロス削減へ	の意識が向上	こしてい	<b>\&lt;</b>	N.		を出さ	ない、リ	サイクル	する事業者			生量が減少する	食品廃棄物が減
	·良   •食	品ロスド	事業有から川氏への 削減を目的とする、補	フ合光 畐岡エコ運動	かによる					A	が増える ・飲食店等	での食	(ベ発)	が減る		少。	する		
		報啓発及び協力店の拡大 アードバンク活動の広報啓発及び企業等への食													品等が廃			み処理費用が減 であった食品の活	少する 5用量が増加する
	・フ   点‡	ードバン 是供の四		及ひ企業等	への食					1	棄されずし	きされずにフードバンクに寄付される					品ロス量が削減	咸されるとともに	、生活困窮者など
ロジ										,							生活を支援に寄 :品関連事業者	rチゅる。 の処理費用が削	減される
ック		指標の内容			実	 績				成		票の内容				実績		E	標
モデ		※②結:	が標の内容 ・アウトプットに対応した ・ 指標を設定	年度	R5年度	R <b>6年度</b>	R7年度	最終	8年度	果	※③中間7 指統	ウトカムに対 票を設定	対応した	年度	R5年度		R6年度	R <b>7年度</b>	最終年度
デ				目標	700	720			0年度	の世	JAT	<i>жешже</i>		目標		1.0	13.9	1102	R12年度
	動		コ運動協力店	実績	692	1,000	1.016			標	食品廃棄	物の焼	却量	実績		2.5	12.8	13.9	1 2
	の店舗		Ţ	達成率	98.9%	138.9%	.,	1,	,065		(万トン)			達成率	100.		100.0%		13.2
	標			目標	269	283		R10	0年度	K				目標		2.2	2.1		R12年度
		フード	バンク福岡	実績	263	286	303			۱P	手つかず	食品処	理量	実績		1.6	1.5	2.1	
		提供企	<b>主</b> 業数	達成率	97.8%	101.1%		30	63.0		(万トン)			達成率	100.		100.0%		1.8
	_				計画(政策推進										事業費(千				
-	車業	区分		点		こみ処理量					l	<b>△</b> €⊓6	<b>左</b>	算額(見) 第額(見)		7/			
-	尹未	(上)					トン(2011年度	E)				T MIO			2領/			10.070	
方	を策:	コード		<del>-2-1</del>	<b>策</b> 耳		トン(2019年度					<u> </u>	歳出					19,372	
			再 —			目標値:49万ト リサイクル率	ン(2024年度)					歳		財源				19,372	
分		引目標	人と地球にやさしい、持続可		±= 2	カイクル <del>率</del> 刃期値:30.4%	(2011年度)							財源				0	
			循環型社会シスラ	テムの構築		見状値:31.0%	(2019年度)					前年度		夏・翌年度					
	事	<b>業群</b>	3Rの推進			目標値:36%(	2024年度)						年度		R5		R7		
					行政運営プラ						ĺ		歳出			0,195	-	106,820	
-			2ぬくもり 多様な			スの提供						歳		財源	1	0,195		106,820	
1 :	推准	項目	④市民や企業なる	どとの共働	•連携							入	一般	財源		0		0	

						事務	事業マネジ									
	事業	≜夕	地域集団回収等	の支援(地	域集団回収等	報奨制度、抽	処点での資源物			めた理由(きっ						
	#7	<b>7</b>	回収事業)										を図るため、地域国			
	所管	局	環境局		所管課	ごみ減量	推進課			・業として、平成 ・交付する報奨			ジ制度」が創設され	√、平成13年度Ⅰ	こ表彰制度から	6回収量に応じ
	根拠	法令	_		_	·							収拠点を設け、資	源物のリサイク	'ルを推進する	事業として、平
	開始	年度	集団H3、拠点H8、民間H12	行政計画	福岡市一般	投廃棄物処 <sup>‡</sup>	里基本計画			もリサイクルボッ						
Ī	事業	概要	<u> </u>		•			•								
	誰(	何)を	<u></u>	)\			令和6年度、前	が年度の改善:	方策	を踏まえ、目	的達成に向	うけてどの	ような方	# どのような	状態になった	ら事業を見直
文	す・地	域集団	団回収等の実施団	体			法で何を行った	たのか						成し(終了)す	るのか	
\$	ឦ·古	紙等0	)資源物を排出する	る市民		K		<b>又等報奨実施要</b>	網	こ基づき、実施	団体に対し、	回収量に応	芯じた報奨 /	→ 地域におし		取り組まれて
							金等を交付。	1,857団体 報導	₽ <b>仝</b>	165 900 730	1					する支援は必
	対象	象をど(	のような状態にした	こいのか			〇市民の身近な							<b>直</b> 要と考えて し る。	いるため、争	美は継続す
4			回収等の実施団	体が、地域	での資源物回		- i	レボックス(計						し <sub> </sub> る。 判		
美	[ ] 活		迷続的に行う。		<b>☆ +n-+</b> 7		<u> </u>	イクルステーシ 民センター等資			増減なし(計	-9か所)		新		
美国的	]] 多	くの中	民が古紙等の資源	泉物回収(こ		月月			<i>m</i> 17	3G-12/11/2/2	71/X-0-0-(11)	073 1717	;	基 準		
A	গ													準		
														~		
Ī	ロジ	ックモ	デル・指標の達	<b>[成度</b> 】												
			①活動7ウトフ				結果アウトプット			4-1-4	③中間7				①最終7ウトカム	
	<u> </u>		(どんな活動を行		· + 1		結果、どうなる		l,		果、対象に				、市としてどう	
		団回り	又の回収量に応じた	に報奨金等			回収に参加しや 最奨金等をもとに		I	<ul><li>実施団体に 行われる。</li></ul>	よる資源物	回収が組		·ごみ処理量が ·リサイクル率		•
			っ。 D資源物リサイクル	の方法や			ることができる。	- /口 封)で		・市民により	古紙等の資	源物が回		7947/V <del>4</del>	ツ.山丁 A の。	
1_	場	所につ	ついて市民に啓発 <sup>・</sup>	する。			アル意識が向上	する。		持ち込まれ、						
	· ) · )	源物區	回収拠点を設置する	る。				る。								
, v					<i>'</i>											
12	ד∏ל		指標の内容 実績 まま アンドラ 実績 まま アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ				目標			指標の内容 ※③中間7ウトカムに対応した		-		責	目	標
4	= 1	水区相	・アウトブットに対応した 指標を設定 年度 R5年度 R6年		R6年度	R7年度 最終年月		果		中間アウトカムに対応した 指標を設定		R5年度	R6年度	R7年度	最終年度	
	活活	∔ih ∔ <del></del> ∉	[団回収等実施	目標	1,990	1,990 1,990		R7年度	の  指	地域集団回り	ln 🕜	目標	68.0%	69.0%		R12年度
	動	地域 団体数	€凹凹収夺夫他   b	実績	1,877	1,85	7 1,990	1,990	標	地域集団四 <sup>1</sup>  利用率	KO)	実績	54.4%	52.8%	70%	75%
	の 指	LII ITT %	*	達成率	94.3%	93.3	%	1,990	$\hat{}$	11111 <del>1-</del>		達成率	80.0%	76.5%		75%
	煙		- 1	目標	517	51	7	R7年度	K			目標	27.0%	28.0%		R12年度
			见点設置数 `	実績	494	48	3 518		P	古紙回収ボッ	ックスの利	実績	35.1%	34.7%	30%	2=2/
		(か所)	)	達成率	95.6%	93.4	%	518	J	用率		達成率	130.0%	123.9%		35%
F	_				計画(政策推進								事業費(千円)			
	中米		重			₩理量					和6年由法	告報(日)				
_	事業	<b>区</b> 万					: 54.1万トン)			<u> </u>	和6年度決		<b>△領</b> /		504040	
	施策=	コード		-2-1	策						歳出				504,010	
		再									歳特定				449,228	
1	分野別	予野別目標 人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築されている 果 (R7年度目標値:34%)									人  一般	財源			54,782	
	施	策	循環型社会システ	テムの構築	指標					前	年度決算額	頁•翌年度	予算額			
	事業	<b>詳</b>	3Rの推進		TOR.						年度	Ę	R5	R	7	
					行政運営プラ	ン					歳出	1	438,3	59	465,582	
	取組	取組方針 —									歳 特定	財源	420,5	45	451,151	
	-124															

						事務事	事業マネジ	メントシー	<u> </u>	(令和6	6年度実施	分)				
	事業	:名	事業系ごみ資源[	回収推進事	業						きっかけ)は何			- 112 - 1 > 1	41 - 10.	
	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •						# ># ==	── <b>│                                   </b>	をごる たかし	みの資源化 ハ現状があ	とにあたっては、 る。そのため、	、目己処理 事業系古	捜責任のもと、╕ 紙をけじめとし	■業者の自主性 て 事業者の?	生に委ねるだけ 多源化に向けが	けでは資源化 た取組みを支
	所管	_	環境局		所管課	ごみ減量	<b>准進課</b>	<b>景</b>  援する	必多	要がある。	なお、平成23年	度からは	「事業系ごみ資	源化推進ファ	ンド」を活用しる	支援を行って
	見拠2 見始4		— H15年度	行政計画	5   垣岡市一郎	投廃棄物処理	<b>其木計画</b>	いる。								
-		F度 概要】		17以計		区角果初处垤	<b>基</b> 本計画									
13			▲ 対象として行うのか	N			今和6年度 1	前年度の改善	七坐	たいなまっ	目的達成に向	リナナナ ナ	どの トラナン	どのトうな	状態になった	に車業を目店
対			<u>の事業者</u> の事業者	<u> </u>		実	方法で何を行		刀來	で始まん、	日的建成に向		201274	成し(終了)で	人態になった	り尹未で兄旦
象	трат-ч		W JANE II			施			ナる <del>,</del>	ホームペー	 ジを運用し、中	小事業者	と古紙・機	果事業系ご	みの中に、資源	原化可能な古
						内 ——— 容	密書類のリサ	イクル業者を			チングサービ			見紙が混入	していない状態	
	対象	をどの	つような状態にした	いのか			に関する情報	発信を実施。						直合。		
事			非出する古紙のう											判		
業	に分	別され	ι、確実にリサイク	いされるり	:::::::::::::::::::::::::::::::::::::::	業								断		
目的						段								基		
ĦĴ						$\sim$								準		
	シッ	ソクモ	デル・指標の選			<u> </u>	結果アウトプット		_		③中間7	AL # /			<ul><li>4最終アウトカム</li></ul>	
		(					精果、どうなる			(7)	の結果、対象は		ひか)		・、市としてどう	
		系ごみ	み資源化情報発信サイトの運用及				き者のマッチン		N		ごみとしての打			・ごみ処理量が	が減少する。	5.5 110
	び市	内事	業者への広報					事業系可燃		る。		. 21.4 = =		・リサイクル量	が増加する。	
							資源化可能	な古紙が減		・古紙の	リサイクル量を	が増える。				
					<b> </b>   る。				17							
ロジッ									ľ				"			
ック		ŧ	指標の内容		実績		Е	  標	成		票の内容		実	 績	B	標
クモデ	}		果アウトプットに対応した 指標を設定	年度	R5年度	R6年度	R7年度	最終年度	果		ウトカムに対応した 票を設定	年度	R5年度	R6年度	R <b>7年</b> 度	最終年度
デ	活			目標	70	70		R8年度	指				R4年度から削減			R12年度
1			ッチングサービ	実績	103.0	93.0			標		能な事業系古	実績	2.1万トン	2.7万トン	R6年度から	
	の 指	人利用	申込件数	達成率	147.1%	132.9%		65.0		紙の焼却	里	達成率	達成	未達成	削減	3.6万トン
	標			目標				R 年度	K			目標				R 年度
				実績								実績				
				達成率					Ŀ			達成率				
				基本	計画(政策推進	<b>生プラン)</b>							事業費(千円)			
3	業	区分	重点 ■ごみ処理量							1	一 令和6年度決					
				-2-1			トン(2011年度				歳出				12	
放	策コ	ード	再一				トン(2019年度 ン(2024年度)				歳特定				12	
分	野別	目標				ノ (2021-1)文/				~~	財源			0		
-			# 初期値				(2011年度)						予复額			
	加力	マー ロ	■ 循環型社会システムの構築 標 現状値:					2019年度) 124年度)				· — 172.	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
	施第 事業			/ <b>五</b> の冊末							年度	F	R5	R	7	
	事業		循環室性会クスク 3Rの推進	/ 五0/冊末	保	目標値:36%(					年度	-	R5			
		群		, <b>20</b> (#, x		目標値:36%(					年度 歳出 歳 特定		2,0	)29 )29	7 1,515 1,515	